

報道機関 各位

青森県健康医療福祉部保健衛生課長

麻しん（はしか）感染拡大防止に関するお知らせ

本県に居住する方が、他県の医療機関で「麻しん（はしか）疑い」と診断され、令和 8 年 2 月 5 日（木）に当該医療機関から管轄保健所に連絡がありました。

麻しんウイルスは非常に感染力が強いため、注意喚起として、広く情報提供するものです。

1 事案の概要

岩手県の令和 8 年 2 月 6 日付けプレスリリースをご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/kenkou/fuushin/1003219.html>

行動歴等は管轄保健所において、現在調査中です。

2 県民の皆様へ

麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下とされていますので、麻しん患者が利用した施設を現在利用しても感染の心配はありません。

麻しん（はしか）が疑われる症状※が出た場合、必ず事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。

また、移動の際は、周囲への感染を拡げないように、可能な限り公共交通機関等の利用を避けてください。

心配なことがありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

※麻しんの主な症状

麻しんウイルスに感染すると、約 10～12 日の潜伏期間の後に発症します。

発熱、咳、鼻水など「かぜ」に似た症状が 2～4 日間続き、その後、39℃以上の高熱、顔・首・全身に発疹が現れます。

発症した人が周囲に感染させる期間は、発症の 1 日前から解熱後 3 日間を経過するまでと言われています。

3 麻しん（はしか）について

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られ、麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染により人から人へ感染が伝播します。

その感染力は非常に強いと言われており、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100% 発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

麻しんは、感染力が非常に強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでは予防できません。

このため、麻しんの感染を予防するためには、予防接種（麻しんワクチンの接種）が最も有効な方法と言われています。

麻しんワクチンは免疫効果が高く、発症の予防や重症化の予防が期待できます。

4 その他参考

・麻しん患者の発生届出状況

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	744	10	6	6	28	45	265	9

青森県の情報は 2026 年 2 月 9 日現在です。※本県は 2010 年（7 件）以降報告なし。

全国の情報は 2026 年第 4 週（令和 8 年 1 月 19 日から令和 8 年 1 月 25 日）の累積報告値です。

- ・「麻しん（はしか）・風しんに注意しましょう！」（青森県庁ホームページ）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/2008-0605-2000-600.html>

報道機関用提供資料	
担当課・担当者	保健衛生課 感染症対策グループ 蛭沢総括主幹
電話番号	内線 6383 直通 017-734-9141
報道監	健康医療福祉部 泉谷次長 内線 6202